

1 議題 「学級の歌をつくろう」

2 児童の実態と議題設定の理由

本学級の児童は、明るく、自分の生活や友達のことなど様々なことに興味・関心をもち、活発に生活している。学級活動では、自分の意見や考えを積極的に発表できるように指導をしてきた。学級会ノートにあらかじめ自分の考えを書かせたり、理由と一緒に自分の考えを発表できた児童を称賛したりすることを通して、自信をもって発表できる児童も増えてきた。司会の役割では、1学期は教師が役割を受け持ち、児童は話合いの進め方を実際に見て、理解できるようにしてきた。2学期に入ってからは、徐々に司会を児童に任せ、話合いの進め方のマニュアルに従って進められるようにしてきている。話合い活動の経験が少なく、まだスムーズに進められない場面があったり、集中力を持続することが難しかったりするが、回数を重ねたり、教師が助言をしたりすることで、話合いの約束やよさを徐々に理解してきている。本学級は、「みんなにやさしく、さいごまであきらめない」を学級目標として掲げている。この目標を達成できるように日々学級目標を意識させる声かけをしたり、反省をする機会をつくらせている。

児童は、毎日校歌を歌う機会がある。歌うことを通して、歌詞に込められた願いを知るとともに、校歌への愛着や学校への愛着も増していると感じられる。本学級でも、学級のシンボリックな学級歌の歌詞について話し合うことで、学級全体のことに目を向けさせたい。また、自分たちが考えた歌詞が入っているオリジナルの歌を歌うことを通して、学級への愛着や所属感を高めたりすることができるのではないかと考え、本議題を設定した。

3 評価基準と目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価 規 準	学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話合い活動の基本的な進め方などについて理解している。
目 指 す 児 童 の 姿	計画委員は、自分の役割を理解し、進んで話合いの活動計画について考え、準備しようとしている。話合い活動の際には、みんなの意見を比べたり、まとめたり、つなげたりしながら、みんなの願いが込められた歌詞にするにはどうすればよいか考えながら話し合っている。 意見を出す児童は、めあてに沿った意見を考え、理由を明確にしながら大きな声で発表しようとする。 友達の意見を聞くときは、最後まで友達の言葉に耳を傾け、受容的な態度で聞こうとする。決まったことについては、みんなの願いを理解し、愛着をもち、歌おうとする。		

4 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導・支援	目指す児童の姿と評価方法
話 合 い の 準 備	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会をもち、今回話し合うことを知る。 計画委員は、話合いの柱や順番を見定め、活動計画を作成する。 全員が議題や提案理由を知り、各自が意見をもつ。 	休み時間 朝自習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 議題と提案理由をはっきりさせ、話し合うべき事を明確に示す。 クラスのイメージからどのような言葉を歌詞にしたいか考えさせ、ノートに書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員として、学級会に向けて進んで準備しようとする。 (関心・意欲・態度) [観察] 提案理由から議題を理解し、個人ノートに自分の意見を意欲的に書こうとする。 (関心・意欲・態度) [観察・個人ノート]
話 合 い	学級歌の歌詞を決めよう (2時間)	学級活動	※本時は1時間目 本時の展開参照	

実践	・みんなで作った歌詞の意味を考えながら、学級の歌を心をついで歌う。	朝の会 音楽 学級会	・歌詞に込められた願いを確認しながら、心を込めて歌えるようにする。	・決定したことや役割を考え、仲良く実践している。 (思考・判断・実践) [観察]
振り返り	・学級歌を作ったことや毎日の歌を振り返り、よかったことや感想を発表させる。	帰りの会	・活動の振り返りを行い、互いのよさや、学級への愛着に気付くことができるようにする。	・自他のよさや学級のよさについて考え、次に生かす点を見いだしている。 (思考・判断・実践) [観察・発表]

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

- 学級の歌の歌詞について、どのような言葉がよいか考えることができる。
- 友達の意見をよく聞いたり、自分の意見を発表したりして、よりよい方法を考えながら話し合いを進めることができる。
- 司会や記録の役割や、基本的な話し合いの進め方を理解できる。

(2) 児童の活動計画 (略)

(3) 指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 はじめの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題の確認 4 提案理由とめあての確認 5 話し合い ○どんな歌にしたいか。 ○学級の歌にどんな歌詞を入れたいか。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割についてのめあてを発表させ、役割意識を自覚させる。 ・提案理由を改めて確認することで、議題の意図をしっかりと意識しながら話し合いを進められるようにする。 ・話し合いマニュアルを示し、スムーズに司会進行できるようにする。 ・個人ノートにはあらかじめ教師がコメントを書き、自信をもって発表できるようにする。 ・理由も添えて発表するよう助言する。 ・発言者が偏らないように助言するとともに、意図的に指名できるようにする。 ・歌詞については、特に内容を限定せずに、どんな考えでも否定せずに受け入れた上で取捨選択をしていく。 ・司会グループが戸惑っていたり、話し合いの意見がめあてから逸れたりしていたら、教師が助言をする。 ・戸惑った様子の司会グループや、今何を話し合っているのか分かっていない児童には寄り添って声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級歌の歌詞について、願いを込めた言葉はどのような言葉がよいかを考えようとしている。 (思考・判断・実践) [観察・個人ノート] ・友達の意見をよく聞き、頷いたり、相槌を打ったりしている。 (関心・意欲・態度) [観察] ・司会や記録の役割や話し合いの進め方を理解している。 (知識・理解) [観察]
6 決まったことの発表 7 先生の話 8 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の学級会と比べてよくなった点や司会グループのこれまでの頑張りを賞賛し、今後の活動への意欲付けをする。 	

6 事後の指導

- ・完成した歌は様々な場面で歌うようにし、歌詞に込められたクラスの願いや思いを確認する。
- ・素敵な学級の歌が完成したことを称賛し、一人一人の所属感や仲間意識を高めるような言葉かけをする。